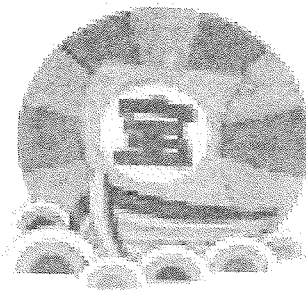


会報 第31号 (平成26年)

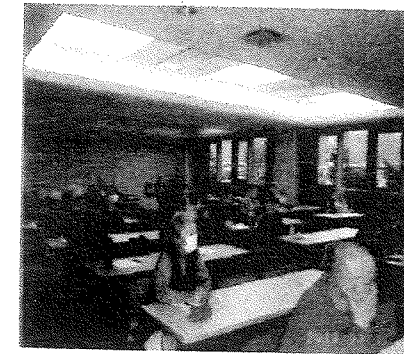
島根県精神当事者連絡会



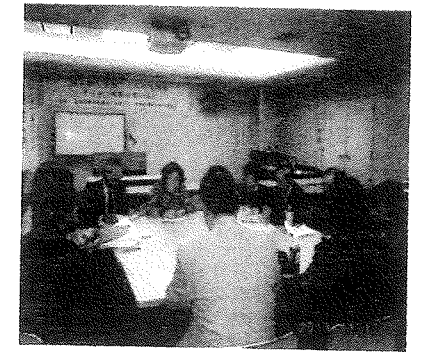
第4回 しまねこころの交流会の様様(平成25年11月17日)(浜田合同庁舎)



来賓の方々



大会の様子



グループワークの様子

第4回 しまねこころの交流会の開催にあたっての感想 島根県精神当事者連絡会 会長 Sさん

家族会の代表の方と電話で話した時には、内容やら場所を決めた方が良いのかと思い場所・日時を決めてから会う日をきめた。浜田で会う事にした。浜田では、いろいろアドバイスを頂いた。しかし、なかなか前に進まず、困ってしまい、遅くなったが実行委員会を立ち上げることにした。家族会から2名、当事者連絡会から3名、西川病院家族会担当のスタッフ1名と浜田保健所の当事者担当の方の7名で開きました。実際には、都合がつかず家族会の方1名と保健所の方が欠席でした。委員会では、役割分担と多くの参加者に来てもらう方法について話し合いました。チラシの配布と配布先の選択は当事者会が印刷し配布先へ送る、また会報の配布と重なり都合良くできました。家族会の会長会が大田の県央保健所であり間に合いました。確認の為第2回の委員会を開き、進行具合を確認した。分担したことの進行具合は、問題なくいきました。今回は、実行委員会を作ったことで、気持ちも楽になり話し合いをすることで、いい考えも出ました。協力することの大切さを改めて思い知りました。今年も4つの事業をこなしたが、やや無理があるようだ。

役員会で話し合いましたが講演会を隔年で開くことにしたが、同様に、必ず実行委員会を作って進めていきたいと思います。

会報発行を担当して学んだこと 島根県精神当事者連絡会 事務局次長 Aさん

会報発行を任されてから、6年が経ちました。最初は文章のきりばりで、パソコンは、出来ませんでした。しかし、ある時、パソコンでの作成を指示され、パソコンとの格闘で、上達し今では、何とか格好のついた物が出来るようになりました。その、パソコンは今故障中、良き相棒でした。“ありがとう”今は、最新型になり、また格闘しています。私は、現在52歳、この原稿を作っている25年12月、腰を会社で痛めました。医者からは、加齢からくるものだと言われ、体もそんな歳になったのかと、複雑な気持ちです。パソコンは、故障すれば買い換えればいいですが、私の体はそうはいきません。大事に、死ぬまでメンテナンスしていかなければ。ちょうど、いい機会だとポジティブにとらえます。

今後は、私は後方支援になりますが、新しいパソコンの勉強はしていきます。これから、島根県精神当事者連絡会も世代交代を計り島根県の精神障がい者の地位向上を訴えていきたいと思います。そこで、一句

1年を 目標持って コツコツやれば 必ず仏が 見えています...若い人材育成を



障がい者に対する、差別・偏見をなくすために、シルバーリボンのキャンペーンを行っています。

◎原稿を募集します。投稿され、掲載された方は、若干のお礼をしますので、お願いいたします

薬と心 Mさん “彼女募集中”

僕も1回目石東病院に4カ月入院しその時は大変でした。でも、なんとか退院して、2年、父が病気になり僕は薬も通院もしなくなり父は何カ月かで他界しました。父とはおわかれしました。それで僕は、1度目の入院の病気の意味も病名も自分でわからないまま、広島に出て仕事をさがし、トラックの運転士をしました。阪神大震災のあった頃でした。「薬」を飲んでません。病院行ってませんでした。大型トラックで、古紙かアルミプレスとか広島⇄岡山間、四国とか走ってました。だんだんと、色々な事?不思議な思いがしていたような気がしてました。それもそうです。統合失調症ですから、薬飲まないとな。広島⇄大阪間行ったり来たりになり走ってました。自分では楽しい気分でした。でも、まわりの人から見るとおかしいと思われていたのかな。とうとう大変な事に。トラックを、国道においたまま、タクシーに乗った。あーそれから、ハッキリとは覚えていません。石東病院ですよ。また、入院。薬を飲まないと、幻覚・幻聴・妄想がはじまります。僕は、あれいらい15年間入院してません。今は、47才になり心もおちついて来てだんだん病状もよくなりました。僕の、知り合いにも薬を飲まず、無理して入院する人もいますけど「薬はかならず、飲みましょう」

精神障がい者について 島根県精神当事者連絡会 副会長 Hさん

数年くらい前に、障害者自立支援法が施行され、3障害とも同じサービスが受けれると、厚生労働省の担当者は言ってましたが、ふたを開けてみると、かなり厳しいものでした。共同作業所に通う人達には負担金が必要になったり、支援センターにも利用料が必要になった市町村もあるということでした。また、医療費も原則1割負担となり年金生活者には困っている人もいます。これも市長村によって格差があるようです。

最近、諸物価も軒並み上昇していて、障がい者には益々生活がしにくくなりました。障害年金を少しでも上げてもらわないことには、わずかな預貯金も取り崩さなければなりません。また仕事をしている人達も、障がい者ということで、賃金も一般の従業員とはかなり低いところもあるようです。

精神障がい者は、きちんと処方された薬を飲んでいても、病気が再発する人もいます。入院でもしたら2~3ヶ月かかります。そしてその体調に戻るのにまた数ヶ月かかります。退院したらすぐ仕事、というわけには行きません。

皆さん、障がい者を、暖かい目で見守ってください。